

# ソーシャルカレッジ (ダイジェスト版)

開催済みのカレッジの内容を  
ご紹介します。

## 第40回 大大阪時代の 小学校校舎は凄かった!! — e-よこ界隈を中心に

2012年1月19日(木) 開催

【講師】  
分田よしこ氏

STUDIO WAKEDA 一級建築士事務所代表、  
精華小学校舎愛好会代表



今回は建築士で、今も大阪市内に残る大大阪時代の建築物である旧精華小学校校舎を愛する会の代表でもあり、e-よこ会会員、分田氏を講師に大阪市内中心部の大大阪時代建築の小学校校舎についてお話を伺いました。写真や資料をスライドで見ながら、ご参加いただいた各小学校校舎を知る方々からも記憶に残る細部のお話を伺ったりと和やかな勉強会といった感じに。本当に写真で見る各校舎はとて凝っていて大大阪時代の活気と町の人の心意気を垣間見たようでした。界隈で今も現存する旧精華小学校校舎に一度足を運んでみたいものです。(精華小学校舎愛好会HPにて見学会や勉強会の情報が見られます)

▶文/萬代陽子 写真/森井道雄

## 第41回 特別企画 e-よこ放談会 船場冠婚葬祭・限定版 — 冠婚葬祭から見る、 船場のしきたり

2012年2月24日(金) 開催

【講師】  
別所俊顕氏 e-よこ会会長・少彦神社宮司  
渋谷善雄氏 e-よこ会副会長・渋谷利兵衛商店  
大橋達夫氏 e-よこ会顧問  
大橋工務店社長・集英連合町会長

特別企画と銘打った今回の講師は当会を代表するお三方に登場いただき、船場の冠婚葬祭のしきたりをお話いただきました。勿論地域によって違うので「船場限定版」と銘打った訳ですが、お話を伺ってみると一般常識となっているそれらはメディアによって統一化され「ドウシテそのようにしているのか」という部分がわからなくなっているものが多いと感じました。「これが正解」とは決して仰られない皆さんですが、「こういう理由があるからこのようにしている」と柔らかくもすっきりと説明されると儀礼的なものも実のあることなのだなぁと感服しきり。これまで意味がよく分からず使っていた儀式用品の事や日本人でありながら多くの方が馴染みが無くなってしまった神社の儀式のこと、現代の企業の中では飛び抜けて儀式の多い建築業と、e-よこ会ならではの和やかな場で本物のお話が伺える良い機会でした。



▶文/萬代陽子 写真/森井道雄

## 第42回 御霊神社と 大阪の歴史

2012年3月24日(土) 開催

【講師】  
小川清氏

平岡珈琲店主



今回の講師は地域では誰もが認める「郷土史家」として名の知れた小川清氏。お話はまず、昨年開かれた船渡御から始まります。北船場地域の成り立ちのお話では、古地図を使った説明に皆さんも釘づけになりました。昨年発掘調査が行われた、旧大阪府庁の「一部だけでも保存してほしいかった」とのご意見に皆様もうなずいておられました。休憩後、2部では「淀川の治水翁 大橋房太郎伝」\*のお話に移ります。明治18年の大洪水が、淀川の付け替え工事のきっかけとなりましたが、大橋房太郎は、時の総理大臣にアボナして予算をつけてくれるように陳情するなど精力的に活動したとのこと。今回の講座は予定の2時間を越えても皆様に熱心にお聞きいただきました。

※近著「淀川の治水翁 大橋房太郎伝」(東方出版)

▶文/森田稔 写真/森井道雄



## ソーシャルカレッジ 開催予定 参加者募集!

第44回 重要文化財 de 春のお茶会

2012年5月25日(金)  
18:30 ~ 19:30 ~ 約45分  
【場所】小西邸 中央区道修町 1-6-10  
各回定員 | 20名  
参加費 | 2000円  
◎お抹茶と和菓子付、着物の方は粗品プレゼント

第45回 e-よこ講談  
旭堂南陽氏を迎えて  
~平清盛ミニ講座と workshop 修羅場読み~  
2012年6月8日(金) 19:00-21:00  
【場所】大阪産業創造館15階 中央区本町 1-4-5  
参加費 | 500円

第46回 e-よこ道通 2012クロージング コラボレーション!  
パークッション ワークショップ  
2012年6月14日(木) 19:00 スタート  
【場所】葎屋橋南側公園 中央区北浜1丁目2  
参加費 | 500円  
講師 | オルト・グン(Olu Togun)氏  
ミュージシャン・ダンサー

▶ 内容が変更される場合があります。  
詳細は、[www.e-yokobori.jp/scd.html](http://www.e-yokobori.jp/scd.html) より「部会のブログ」をご覧ください。

要予約 e-よこソーシャルカレッジ部会  
[e\\_yoko\\_socialcollege@yahoo.co.jp](mailto:e_yoko_socialcollege@yahoo.co.jp)  
または  
FAX.06-6222-3878  
愛日堂薬局内 受付時間 月-金 9:00-18:00



# 東横堀 水辺新聞

e-よこ会がお届けするまちの魅力



e-よこ会

## e-よこ会 イベント・行事案内 情報

### まちあるき 東横堀見聞録 — 天下の貨の七分は 浪華にあり

東横堀界隈の隠れた名所名跡や、知る人ぞ知る名店を、e-よこ会の名物ガイドが案内します。老舗結納店店主による水引細工体験付き。

2012年4月28日(土)・5月19日(土)  
9:30~12:00頃 ※雨天決行

集合 | 大阪証券取引所・1階ホール  
地下鉄堺筋線 北浜駅 1B番出口  
京阪電車 北浜駅 27番・28番出口すぐ  
主催 | 大阪コミュニティツーリズム推進連絡協議会(大阪あそ歩)  
お申込み・お問い合わせ | 大阪あそ歩事務局 06-6282-5930  
受付 | 平日13時~17時



東横堀界隈を  
楽しむ一ヶ月

## e-よこ道通

2012年5月14日(月)~6月14日(木)

"まちをあげた文化祭"をコンセプトに、e-よこ界隈の70ヶ所を超えるミュージアムや店舗が参加して、水辺やまちの魅力をお届けする一大イベント。会期中は各所で、ミュージアムの特別開館やツアー、講演会、ワークショップ、コンサートなど、30以上のイベントが目白押し! e-よこならではの企画をお楽しみください。詳しくはパンフレットやホームページをご覧ください。

[www.e-yokobori.jp](http://www.e-yokobori.jp)



## e-よこ会 プレゼント

1 大阪小型水上旅客船協議会さまご提供  
「中之島公園バラクルーズ」  
ペアチケット5組

中之島公園バラ園に咲き誇るバラを、船上から楽しむクルーズ。10人乗りの小型船で優雅に、中央公会堂やライオン橋など中之島の魅力を満喫!

5月19日(土)~6月10日(日)  
11時~16時半、毎時00分、30分発  
中之島公園コースポート発着 各回10人(申込不要)

2 大阪市立近代美術館(仮称)さまご提供  
「佐伯祐三とパリーポスターのある街角」  
ペアチケット5組10名

近代日本の画家として有名な佐伯祐三はじめ交友のあった画家たちの作品を公開

4月28日(土)~7月16日(月・祝)  
大阪市立近代美術館(仮称)心齋橋展示室  
大阪市中央区南船場3-4-26  
出光ナガホリビル13階(旧出光美術館大阪)

休館日:水曜日  
開館時間:午前11時~午後7時(入館6時30分まで)  
観覧料:一般500円(前売400円、4月27日まで、  
大阪市営地下鉄、プレイガイド、コンビニなどで販売中)

ハガキに、住所・氏名・電話番号・メールアドレスと、「e-よこプレゼント希望+希望プレゼント番号」を明記の上、下記までご応募ください。  
〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8 大阪商工会議所 地域振興部内 e-よこ会事務局宛  
※応募締切:2012年5月18日(金) 必着 当選された方に、チケットをお送りします。

## e-よこ会とは?

2006年7月24日、天神祭のどんどど舟の音が響く東横堀川で、住民やこだわりショップのオーナー、地元企業などが集結し、e-よこ会(東横堀川水辺再生協議会)が発足しました。「まちなかに生きる東横堀川」を目指し、季節ごとに水辺を楽しむイベントの開催、毎月のお掃除、橋へのフラワーボットの設置など、川を生かしたまちづくりに積極的に取り組んでいます。どなたでもご参加いただけます。一緒にe-よこ界隈を楽しみましょう!

### 水辺の定期清掃活動&放置自転車エフつけ

毎月14日は「e-よこの日」。河岸公園や橋の上を皆で清掃します。e-よこ会メンバーでない方も大歓迎。当日は界隈に放置された自転車への警告エフ(札)付けも実施します。持ち物は不要。動きやすい服装でお越しください。

8時半~9時15分 ※雨天中止  
集合 平野橋南側河岸公園 清掃用具庫前主催 e-よこ会(水辺活用部会)

会長 別所俊顕(少彦神社宮司)  
会員 地元住民 地元ショップ・企業の就業者 地域で活動するNPOや団体のメンバー  
他地域のサポーター他 約90名  
事務局 大阪商工会議所 地域振興部(2012年3月現在)

e-よこ会ホームページ  
[www.e-yokobori.jp](http://www.e-yokobori.jp)

発行 | e-よこ会(東横堀川水辺再生協議会)  
編集 | e-よこ広報部会(小森利絵 廣井真由美 杉本容子 萬代陽子 森井道雄 森田稔 西村由樹子 磯上慶子)  
デザイン | 有限会社オルタ・デザインアソシエイツ 印刷 | 株式会社光陽社  
問合せ先 | Tel.06-6944-6323 発行日 | 2012年5月  
助成 | (財)河川環境管理財団 河川整備基金

e-よこ新聞を配布、  
掲示・設置していただける方募集中!

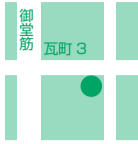
下記までお問い合わせください  
有限会社オルタ・デザインアソシエイツ  
〒541-0048 大阪市中央区瓦町1-1-6 Tel.06-6204-0090



### 平岡珈琲店

Tel.06-6231-6020

月～金8時～18時 土8時～13時 日祝休  
中央区瓦町 3-6-11



1921年(大正10年)創業の平岡珈琲店。現店主の小川清さんが3代目です。今の店舗は昭和56年に平野町3丁目より移転、店舗としては創業より数えて4店舗目。小川さんは、昭和59年に勤めていた広告会社を退社、家業である同店に従事したそうです。小川さんの珈琲に対するこだわりは、生豆を仕入れて自家焙煎を行い、挽いた豆を直接鍋に入れる「炊き出し」という方法。現在では非常に珍しい珈琲提供の方法だそうで、小川さんの珈琲に対する熱い想いが伝わってきます。ちなみに手造りのドーナツは創業当時のままです。

各マスコミに頻繁に登場する同店は、珈琲店の開業希望者からの相談もよく受けるそうで、最近も2名の新規開店者に焙煎技術なども惜しげもなく直接指導したとのこと。小川さんは言います。「開業希望者に、技術的なものは教えられるが、店舗経営で大事なのは経営者のセンスに他ならない。この点を心がけるように」と。

昭和の雰囲気がかかる店舗にかかるクラシックな時計は、昭和10年当時のお客様が寄贈してくれたもの。現在の客層は、シニア層と若手層がほぼ半々。旅行ガイドブックに「大阪で一番古い珈琲店」との触れ込みで掲載されている関係が、中国・韓国のお客層も多いそうです。

昨今は外資系の大手コーヒーチェーンの台頭により、個人店は減少してきています。「お客様の嗜好の変化はめまぐるしいが、過去の成功体験に頼ることなく常に研鑽していかねば・・・」と語る小川さん。おいしい珈琲とドーナツを食べに、一度足を運んではいかがでしょう。 ▶文・写真/森田稔



昭和の雰囲気がかかる店舗にかかるクラシックな時計は、昭和10年当時のお客様が寄贈してくれたもの。現在の客層は、シニア層と若手層がほぼ半々。旅行ガイドブックに「大阪で一番古い珈琲店」との触れ込みで掲載されている関係が、中国・韓国のお客層も多いそうです。

昨今は外資系の大手コーヒーチェーンの台頭により、個人店は減少してきています。「お客様の嗜好の変化はめまぐるしいが、過去の成功体験に頼ることなく常に研鑽していかねば・・・」と語る小川さん。おいしい珈琲とドーナツを食べに、一度足を運んではいかがでしょう。 ▶文・写真/森田稔

### FOLK old book store

Tel.06-7172-5980

11時～20時 日祝不定休(4月無休)  
中央区平野町 1-2-1  
http://www.folkbookstore.com



水辺の緑が目鮮やかに、窓越しに揺らいている。白い壁にある沢山の本は、店主吉村さんのセレクト。大人も子供もそれぞれが手に取りやすい目線に様々なジャンルの雑誌や本が置かれている。それはりんご箱に収まっていたり、テーブルに積み上げられていたり、どこかゆるゆる空気感流れている。このお店ができたのは冷え切った青空が澄んだ2012年1月。カフェなのか?何なのか、気になっていた人も多いのでは?ペピーカーも入れるのでお昼間は新米ママだったり夜はサラリーマンだったり...小腹を満たしながらお気に入りの1冊にくずりと笑みがこぼれる。

元々はジャンルを問わず色々な本を収集するのが好きだった吉村さん。趣味が講じて古本屋を天満宮は



門前町で早速オープンさせた。一見今時の草食系男子のような彼のどこにそんな行動力があるのだろうか?そんな彼が新たに探し求めたのは自然が感じられ、イベントギャラリーができるこの空間だった。彼の思いと人の出逢いを東横堀川はきっと運んでくれるだろう。桜スポットでもあるので、ぜひ散歩に繰り出そう。

▶文・写真/西村由樹子

来るeよこ道運期間中、3日間(5月18日～20日)限定で「約50人の本棚展」を知人と3館協賛で開催予定。詳細はブログをご覧ください

### 江戸幸 えどこう

Tel.06-6222-0857

11時半～13時15分 17時半～22時 土日祝休  
中央区平野町 3-1-7  
大阪屋セントラルビル 1F



串焼きの店、江戸幸はこの4月でなんと創業30周年。店主の山口さんご夫婦の笑顔が素敵な店です。店名のいわれは?「大阪の江戸堀にもともと親父が店を出して、そこからつけたんよ。江戸堀に幸あれってね」ビルが一番奥にあるお店は、近所で働くサラリーマンのオアシス。取材は火曜日でしたが、7時半を過ぎると、あっという間に店内がいっぱいに。来る人、来る人が「ただいま～」と言いながら、店に入るのがとても印象的でした。カウンターのショーケースには、新鮮な串焼きのネタや奥さんの手作りの一品が並んでおり、どのアテにしようかな、とうれしい悩み。仕事の疲れも一気にリセットできそうです。串焼きやおいしい肴以外のもう一つの名



物がホッピー。昔、落研で鍛えた大将のとってもおちゃめなホッピーパフォーマンスは必見です。アツアツの串焼きの後には、カレーにゅう麺でFinish!サラリーマンが集う店にハズレなし。是非一度足を運んでみては。

▶文・写真/廣井真由美

### モリタ万年筆店

Tel.06-6222-5152

9時～19時 土11時～19時 日祝休  
中央区平野町 2-2-14(仮店舗)  
中央区高麗橋 2-2-10(新店舗・六月頃開業予定)  
http://morita.ne.jp



「万年筆はその名の通り、調整や修理をこまめに行うことにより長く使うことができる、そして書くほどに、自分の手の一部のようにしっくり馴染んでいくのです。」そう語るの、平野町に仮店舗を構えるモリタ万年筆店、森田誠二さん。

モリタ万年筆店は昭和21年、誠二さんの父である森田誠一氏によって北浜に開かれました。戦後物資の乏しい時期、各家庭にある万年筆の修理からスタートしたという同店。その伝統は今も息づき、こまやかな修理と調整を大切に、初めて万年筆を手にする方が使い方から手入れまで気軽に尋ねることのできるお店を変わらぬ信条としています。そのためリピーターも多く、遠方から足繁く通われる方も少なくないとのこと。取材時にも加古川市からお一人来られていました。

お店には常時1000本を軽く超える万年筆が揃えら



れ、落ち着いたものから鮮やかなもの、ポップで可愛いものまでお好みのまま。なんとモリタ万年筆店オリジナル万年筆もあるのです!

「昨今はリーズナブルでデザイン性の高い万年筆も多く、インクもカラフルな色彩や香り付きなどと多種に富んでいるので、自分なりの楽しみ方をされる若い方も増えています。できれば手にとって自分に合うものを選んでいただきたいのですが、遠方の方やネットショップの販売の場合はしっかりとメールにてアドバイスさせていただいております。」

万年筆に対する深い愛情と妥協のない姿勢が感じられるモリタ万年筆店。大切な人への一本を、あなたも選んでみませんか。

▶文・写真/磯上慶子

### まちのあのe人



### 株式会社トラベル日本

大阪支店企画販売部 Tel:06-6271-0221  
中央区南本町 1-8-14  
http://www.tourplaza.jp/



### 加地光広さん

株式会社 トラベル日本は 昭和38年創業の、業界では中堅の旅行会社。業務の内容は、学校や企業の依頼で要望を聞きながらオーダーメイド型の旅行を作る法人営業部門と、同社で企画した旅行を広く一般からお客を募る、企画営業部門と大きく分類されます。企画営業部門はさらに四国八十八ヶ所などの巡拝ツアーと琵琶湖一周ウォークや熊野古道ウォークなどのウォーキングツアーとに分かれます。今回話を伺った加地光広さんは、企画営業部門の責任者で主に国内のウォーキングツアーを担当しています。

昨今は同業他社も似たような企画を販売しているが、同社はこの分野ですでに15年の実績があり、多くのリピーター顧客を擁しています。加地さんによると、如何にお客様に喜んでいただけるかに、同社独自のノウハウがあるとのこと。例えば同社では、ウォーキングリ

ーダーと呼ばれる専属のガイドが、各ウォークを1名ずつ担当しており、その業務は事前の入念な下見はもちろんのこと、当日は所要場所での簡単な案内とともに、参加者に心配りを欠かさない等、万全の体制をとっています。また最近特に力を入れているのが、着地型ツアーと呼ぶ近隣のウォーキングツアー。たとえば連続テレビ小説「カーネーション」の舞台である岸和田や堺などのまち歩き。気軽に参加していただきたいとの企画で、大阪24区ウォーク区と銘打った大阪市各区を24回で完歩するツアーも好評とか。大阪の地盤沈下が言われて久しい昨今ですが、旅行会社ならではの地域密着型企画で町興しのお手伝いができれば・・・と熱く語る加地さん。タイミングが合えば、eよこ会とのコラボツアーも企画可能とのこと。楽しみですね!

▶文・写真/森田稔



### (株)生駒時計店

### 生駒伸夫さん



この界隈のランドマーク的存在の1つである生駒ビルディング。堺筋に面した時計塔が光る建物は、大大阪と呼ばれた時代に相応しいスクラッチタイルとテラコッタ、大理石をあしらったアールデコ調の建物です。生駒時計店社長、生駒伸夫さんにお話を伺いました。「今は有形文化財で著名になったこのビルも、建替えを考えた時代もあった。しかし美しい姿を何とか残したいという先代と自分の思いにより維持することに。その華やかな内部は次回6月9日のeよこ道運特別見学説明会(申込方法参照)にてご覧下さい。」とのこと。貴重な機会、お見逃し無く。

さて、時計店の歴史に戻ると、御堂筋がまだ幅5mの細い道であった明治3年より高麗橋5丁目まで商っていたが、大正末期に御堂筋の拡幅計画が発表され、昭和初めには立退きを余儀なくされ、当時メインストリートとして栄えた現在地に支店を設け、後に移動。支店は初め日本家屋であったが今のビルに建替えて本店を移し、同時に番頭達住込従業員の部屋を5Fに設け、経営者は神戸・御影に居を構え通いで店に出る様になる。それが「阪神間モダニズム」、当時の経営者たちのライフスタイルだ。この時既に宝飾品や輸入時計等を今で言う通販カタログとし、全国に頒布されていたのも驚きである。その後大空襲、阪神大震災も経験したが、このビルが損傷を免れてきたのは建築技術の高さ故と言えるだろう。

今は一部をリノベーションし、しっかり耐震補強を行い、賃貸ビルとなっている。

現在、時計を陳列した店舗はないが、時計修理や電池交換等、及び特注記念品などを扱う外商窓口を隣のビルに設けている。顧客の細かな注文に応じ製作は分業化されているが、その昔、地元大阪ですべて賄えた職人は、工場を継ぐ者が激減し、東京など地元以外の職人がこれを支えている部門も少なくない。これも時代の流れなのだろう。生駒さんに今後の展望を聞いてみると、原点に帰し、人との触れ合いあふれるビルの利用を構想中なんだとか。更なる可能性を秘めて生き続けるレトロビルの今後が楽しみだ。

▶文/西村有樹子・写真/森田稔



eよこ道運  
**レトロビル特別案内ツアー**  
2012年6月9日(土) 14時～約1時間  
下記事前申込者に対しビル1F玄関にて20分前より受付  
eよこ会事務局: info@e-yokobori.jp または Fax: 06-6944-6330  
氏名、メールまたは Fax 番号、ツアー名を明記し  
6月6日迄 先着30名受付  
満席で参加頂けない場合のみ折り返し回答いたします。

### まちのあの場所



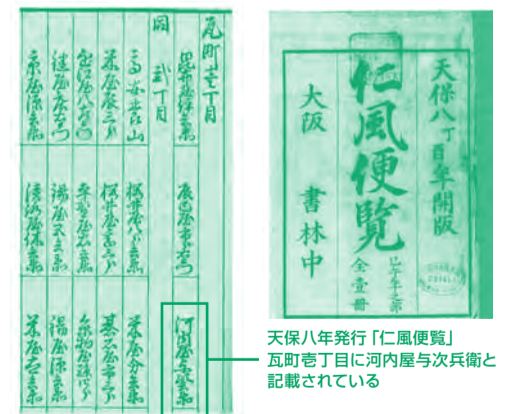
### 大手橋(思案橋)西詰 船宿「河内屋与次兵衛」跡 ——坂本龍馬定宿 伏見「日野屋孫兵衛」ゆかりの地 大阪市中央区瓦町1周辺

### 長谷吉治

江戸期、大坂伏見間を三十石船が盛んに往来し、伏見と大坂各地の船宿間で業務提携を結んでいました。吉田静庵著の「伏見史話」によると伏見「日野屋孫兵衛」の提携先は、大坂東横堀川思案橋西詰「河内屋与次兵衛」とあります。思案橋の由来は、西詰めが突き当たりで、左右どちらに行くか思案をするからとのこと。(大正期「大手橋」と改称)。幕末の英雄坂本龍馬が姉の乙女に宛てた慶応元年の手紙を紹介します。

「(前文省略) 伏見にておやしきのそば二宝来橋と申へんに船やどにて寺田や伊助、又其へん二京橋有、日野屋孫兵衛と申ものあり。これ八はたごや二候。此両家なればちふど私がお国にて安田順蔵さんのうちにおりよふな、こゝろもちにており候事二候て、又あちらよりもおゝいにかわいがりくれ候間、此方へ薩州西郷伊三郎と御あてにて、品ものにて、手がみこてもおんこし被遣候時八、私ことゞき候。かしこ。 九月九日」

伏見で世話になっている「寺田屋」と「日野屋」を知



らせ、「西郷伊三郎」(龍馬の変名)宛て送ると龍馬の手に届くことを伝える手紙です。

坂本龍馬は、思案橋にほど近くにあった専稱(せんしょう)寺(じ)(師勝(かつ)海舟(かいしゅう))の大坂旅宿先へ頻繁に出入りしていました。龍馬は、京都から大坂へ駆けつけた何回かのうち「河内屋与次兵衛」へ立ち寄った可能性があると思われま。 (伏見「寺田屋」の提携先は八軒家「堺屋源兵衛」)